

弥生の キッチン

2017
9.12^{TUE} — 11.12^{SUN}
唐津湾岸の弥生社会の成立



弥生人の台所事情は…



どうなっていたんだろう？

【会場】末盧館 特別展示室・2階常設展示室の一部
 【開館時間】9:00~17:00 (*入館は16:40まで)
 【休館日】月曜日(*ただし、9/18、10/9は開館し、翌火曜日休館)
 【入館料】一般:200円/小・中学生:100円
 【主催】公益財団法人 唐津市文化事業団 【共催】唐津市教育委員会 【後援】FMからつ86.8MHz

- 講座●「弥生のキッチン」 *予約不要
 【日時】平成29年9月16日(土) 10:00~11:30 【場所】唐津市末盧館
 【講師】公益財団法人唐津市文化事業団 濱口尚美 【受講料】無料 【定員】20名程度
- 体験イベント●「ピカピカに光る土器を作ろう」
 【日時】平成29年10月21日(土) 10:00~12:00 【場所】唐津市末盧館
 【対象】小学生以上:20名 【参加費】300円



唐津市末盧館

唐津市菜畑3359-2 TEL.0955-73-3673



杓子類

〈元岡・桑原遺跡群、比恵遺跡、那珂久平遺跡／福岡市埋蔵文化財センター 蔵〉

“キッチン”は時代や地域により、造られる場所や使われる道具に違いがありますが、いずれにおいても料理を作る上でなくてはならないものです。今回の展示では、キッチンを「食事の準備からごみ捨てまでを行う場所と使う道具の集まり」と捉えて、遺跡から見つかった様々な調理道具を紹介し、弥生人の台所事情を探ります。

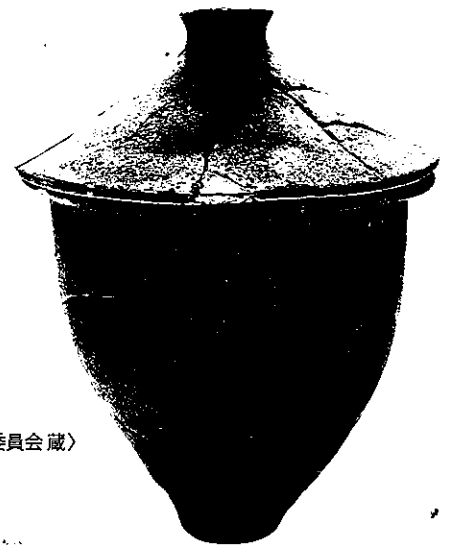
米作りを始めた弥生人。それは“炊飯”という新たな調理の始まりであり、ご飯とおかずという現代につながる食事スタイルの始まりでもあったのです。このように料理の世界の大転換でもあった弥生時代、どんな場所でどのような道具を使って調理を行っていたのでしょうか。弥生人の台所を少しのぞいてみましょう。

弥生のキッチン

唐津湾岸の弥生社会の成立

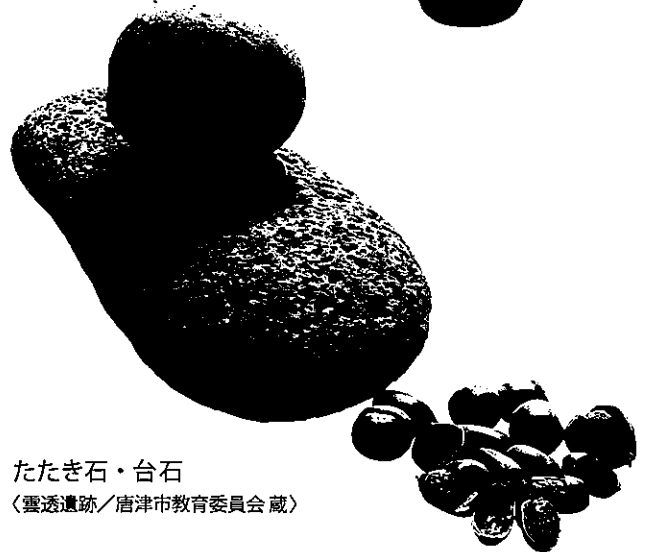
【主な展示品】

No.	資料名	遺跡名	所蔵
1	支脚	中原遺跡	佐賀県教育委員会
2	蓋	大深田遺跡	佐賀県教育委員会
3	すり石	雲透遺跡	唐津市教育委員会
4	深鍋(甕)	中原遺跡	佐賀県教育委員会
5	壺	中原遺跡	佐賀県教育委員会
6	蓋(木製)	上罐子遺跡	伊都国歴史博物館
7	杓文字(木製)	那珂久平遺跡	福岡市埋蔵文化財センター
8	杓子(土製)	雀居遺跡	福岡市埋蔵文化財センター
9	杓子(木製)	元岡・桑原遺跡群	福岡市埋蔵文化財センター
10	杓子(木製)	比恵遺跡	福岡市埋蔵文化財センター
11	杓子(木製)	上罐子遺跡	伊都国歴史博物館
12	石匙	菜畑遺跡	唐津市教育委員会



蓋・深鍋(甕)

〈大深田遺跡／佐賀県教育委員会 蔵〉



たたき石・台石

〈雲透遺跡／唐津市教育委員会 蔵〉

●講座●「弥生のキッチン」 *予約不要

〔日時〕平成29年9月16日(土) 10:00~11:30 〔場所〕唐津市末盧館
〔講師〕公益財団法人唐津市文化事業団 濱口尚美 〔受講料〕無料 〔定員〕20名程度

●体験イベント●「ピカピカに光る土器を作ろう」

〔日時〕平成29年10月21日(土) 10:00~12:00 〔場所〕唐津市末盧館
〔対象〕小学生以上:20名 〔参加費〕300円